

もえぎ

和日双中
さん書

1

Vol. 392
2025/1.15



医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所(二日町)
在宅療養支援有床診療所(浦佐)



INDEX

- 2 ■ 新年のご挨拶
- 3 ■ 子たちが演ずる 餅つきと年取り蕎麦
 🍵 さくりよいとこ一度はおいで
- 4 ■ 黒岩卓夫一代記
- 5 ■ あやめ診療所視察報告
- 6 ■ ズーム初詣/コラム
- 7 ■ お正月行事/クリスマス行事
- 8 ■ 利用者紹介/ふみ/編集後記



「手まり」 雷土 上村 菊江様作、寄贈
撮影地: 浦佐診療所
撮影者: 浦佐診療所職員

新年のご挨拶

地域住民の皆さま、県内外の関係諸機関の皆さま、昨年大変お世話になりました。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨年の萌気会でのトップニュースは、ゆきぐに大和病院院長として長年当地の地域医療に貢献された松島二雄先生が同院を退職され11月より常勤医として萌気園浦佐診療所に来られたことです。それに伴い田邊繁世先生が萌気園二日町診療所院長に就任し医師の体制が大きく変わりました。新体制でも引き続き地域のニーズに応えるべく全力を尽くす所存です。

昨年の国内ニュースとしては、能登地震、日航機・海保機衝突、政治家の裏金問題、闇バイト強盗、紅麹被害、有名人の相次ぐ逝去など暗いニュースが多



かったように思います。元気を貰った明るいニュースはやはりスポーツでした。大谷翔平の50-50には日本中が湧きました。パリオリンピック・パラリンピックでのメダルラッシュにも沢山元気を貰いました。また、新潟県民としては『佐渡島の金山』が世界文化遺産に認定されたことは嬉しいニュースでした。

個人的にはとても辛いことが起こってしまいました。萌気会の理事として法人運営にも貢献してくれていた私の弟である黒岩乙水(いつみ)が12月9日、一人旅でウズベキスタン滞在中に心筋梗塞(恐らく)で50歳という若さで急逝したのです。

乙水は、大学卒業後広告代理店の電通に就職し長年東京に住んでいましたが電通を退職し2022年の春に故郷の南魚沼市に家族で移住してきました。

乙水の萌気会への貢献としては、2019年、『100年続く法人を』をテーマに萌気会スタッフでグループワークを通して萌気会の新理念を決めるべく意見を出し合うというプロジェクトを電通社員として担ってくれました。また当地移住後は電通での社員教育の経験を活かし『コーチング(コミュニケーション)を通して企業・社員の能力を最大限に引き出す』の会社を立ち上げ、大企業から地元中小企業まで広く手掛けていました。萌気会スタッフにもヒアリング・コーチングを行ってくれました。

地域の運動イベントの実行委員を担ったり、母校の六日町高校で『キャリア形成』の授業の講師を担ったり、故郷を元気にしたいという思いで色んな地域活動にも着手していました。

『なぜ乙水がこのタイミングで逝かなければいけなかったのか?』という答えの出ない自問トンネルから全く抜け出せそうにありませんが、今後私にできる事は乙水の志を胸に一日一日を大切に生きる事だと思っています。

今まで仕事だけではなく趣味も含め休むことなくずっと動いてきた乙水、向こうでもきつと休むことなく好きなことをやり続けるのでしょね。乙水、心からありがとう。

最後に、萌気会および萌気医療・介護サポート社の皆さま、多くの事業所が人材不足などの困難を抱える中、昨年も事業所運営にご尽力いただきどうもありがとうございます。

本年が皆様にとって幸せと実りのある年となることを祈念しております。





萌気会 相談役
黒岩 卓夫

子たちが演ずる 餅つきと年取り蕎麦

私の家族、黒岩ファミリーとしておきますが、自分たち、子たち、孫たちで全員集まれば30数名になる。こうしたメンバーが暮れ正月でも一堂に会するのは難しい。

しかし対策がないわけではない。成人が年一回だから集まるといっては適当に変更できない。しかし可愛い子や孫の楽しみを親の都合だけで奪うことは予想以上に難しい。

その人集めのメインは12月30日の「もちつき大会」だ。秩子ももち米を用意し、30日午前中に蒸かす。蒸かしが完成する頃から、子・孫が動き出す。要するに「つきたてのお餅」が美味しくてたまらない。自分たちが臼と杵でつくのだ。その担い手も孫に移りつつある。

さらに子たちの味覚は、モチを力を入れてかみしめながら、それに添えるものが楽しみだ。お雑煮、お汁粉、クルミ餡、きな粉、ネギ味噌、納豆におろしと多様性がある。お雑煮、お汁粉は誰でも食べる。ついで納豆におろしとネギ味噌に人気

があるのにはびっくりする。小さい孫までもそうなのだ。

おそらく小さい頃からもちつきのお祭りの空気を吸い、負けない習慣は、身にしみついて、30日のもちつき大会には全員が集まる。そして自分たちの出番がある。

一夜明ければ31日、元旦と雰囲気が高まる。その31日の年取り蕎麦にも子・孫たちははまるのだ。この蕎麦は特別に毎年お願いして頂戴することになっていいる。私もこの蕎麦は日本中で一番味があると思う。蕎麦だけを噛みしめて、その甘さやふくよかさは信州や越後の名物蕎麦に比べて遥かにうまい。

餅つきと年取り蕎麦が、黒岩ファミリーの粹だと思う。



さくりよいとこ 一度はおいで あじよんのび♪

さくり温泉は親子の猿や熊に遭遇するほど自然の豊かな五十沢地域にあります。

平成18年に温泉に入れるデイスービスとして開設しました。

アルカリ性単純温泉でお肌がしっとりつるつるになる美肌の湯です。夜まで身体がポカポカして良く眠れると大好評です。一般の方もご利用頂ける健康館を併設しています。

さくり温泉では毎月の行事

担当を設けて、お花見や紅葉ドライブ、クリスマス会など季節の行事活動を積極的に行っています。

利用者さんはもちろん職員全員が笑顔で楽しく、安全で安心な事業所を目指しています。これからもさくり温泉をどうぞよろしく願っています。



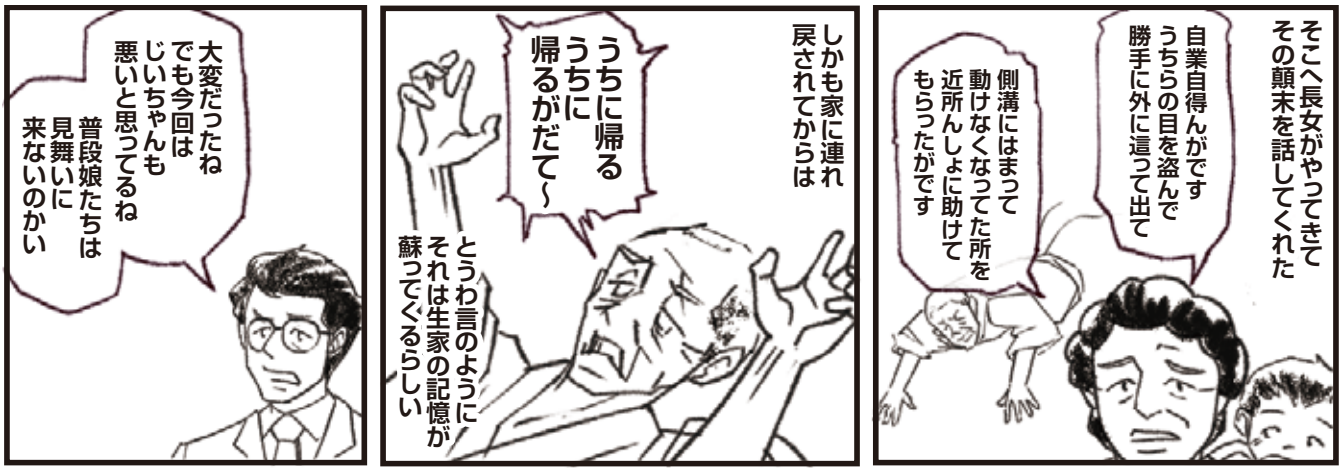
さくり温泉デイスービスセンター
管理者 奈良場 淳子



和解ある老いと死

血縁③

原作・黒岩卓夫 画・福留慶 方言アドバイザー・おかつへ

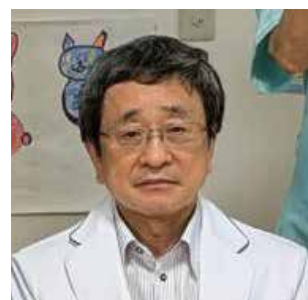


在宅を続けながら看取りまで看させてほしいとの気持ちは在宅医の心底にある。しかし多くは予想できる理由で老人ホームに入れられる。さらに介護保険法の問題、「本人の自由と自立」で入所は決定すべきと謳ってある。一方要介護Ⅲになればホームへの流れがあるほどだ。在宅医はその都度、自分の力が至らなかったのか?患者さんに「ごめん」と心であやまってしまう。決して家族が悪かったわけではない。在宅医は在宅生活の良さを本人にどこまで伝えていたのだろうか。また明日が始まる。

あやめ診療所視察報告



秋空の中のまつのやま学園 校舎



萌気園あやめ診療所 院長 柿原 敏夫

11月25日あやめ診療所と関係の深い十日町市の松之山学園と南魚沼市大月の鈴木農場を訪問してきました。まつのやま学園は見晴らしのいい山頂に建つ近代的建築様式の校舎でした。クラス5～10人程度の規模で、クラスによっては障害児横に介助員が付き家庭的な雰囲気時間がゆっくり流れていました。

鈴木農場(B型就労支援施設)は当初山麓にひろく広がる殺風景な農場を想像していましたが、実際はモダンな喫茶店を構え、その隣ではLEDライトで野菜栽培を行うといった都市型農業でした。また採用方針としては、最終職場でなく次の企業への橋渡しの支援を主軸とし、多種企業と連携しているとのことでした。

明るい希望が見えました。



自然豊かな校庭

萌気園あやめ診療所 主任 鈴木 美智子

2024年11月25日、鈴木農場(B型就労支援施設)とまつのやま学園(小中一貫校)を訪問してきました。訪問理由は、当院受診患者さんがどのような場所で学び、働くことがいいのかを考える一助とするためでした。

まつのやま学園は、少人数のクラス編成で、子どもたちが伸び伸びと学んでいる様子を見ることができました。鈴木農場では、個人に適した仕事に一生懸命取り組む様子を見ることができました。

私たちは、医療の現場で患者さんに関わることはできませんが、生活の多くは各家庭や学校、職場で過ごしています。私たちは、患者さんが適した居場所で生活を送ることができるように、協力したいと思っています。そのような居場所(生活の拠点)を共に探し提案できるようになるためには、色々な取り組みをしている場所に出向き実際を知ることが必要と考えての訪問でした。両施設ともに、それぞれの良さを感じて帰路につきました。

ズーム初詣

萌気園老人ホーム すみれ草

参加した施設の名称が順番に流れている中に『すみれ草』と表示された瞬間、会場が一斉に盛り上がりました。「増上寺からの年賀状を部屋に貼って欲しい」と言われる熱心な利用者さんもいらっしゃいました。



萌気園グループホーム ふきのとう

増上寺クイズでは、みんなで相談しながら回答しましたが難しく、3問中1問の正解でした。

Zoomのチャットに投稿した内容がLive配信で読まれた時には、みんなで拍手をしたり、万歳をしたりと大盛り上がりしました。



看護小規模多機能型居宅介護 コム・ソフィ&ナース

クイズは少し難しかったですが、利用者さんも職員も一緒に楽しく参加できました。



小規模多機能ホーム さくりの郷

皆さんが大変楽しみにされており、予定時間の30分前には全員が集まって開始を待つほどでした。ご住職のお話しに真剣に耳を傾けられ、御祈祷では熱心にお祈りをされていました。また利用者さん同士相談しながらクイズの答えを考えたり、お寺の中の様子が映し出されると興味深くご覧になっていました。



安心コラム

生と死の間

新年なので死のことはタブーとされている。しかし、死、そのものは永遠に”生きており”正月だろうが、お盆であろうが家の仏壇には、死者はいつも住んで発言もするのだ。ひところは「こんことどうすんべ」という時に「おら、大きいじい様に聞いてみんばならん」と言って、改めて御先祖さまに手を合わせて、心の問答をする。

舞台は変わるが、日本の伝統芸能で最も人の心に深く潜んでいるのは「お能」だ。皆さんTVでも新年などは放映するので見てほしい。能の主役は、この世とあの世の間(あわい)に住んでいる人が、舞台に登場して、この世の人たちに語り掛ける。姿は亡霊であったり、鬼であったり、巫女であったりする。

おそらく間の世からなので、この世を見る視線と立場が違い、ずばりと事の本質を語り、「この世」の人の心を大きく揺さぶることになり、人間界の世界の色彩を変えたりする。





お正月行事



看護小規模多機能型居宅介護 コム・ソフィ&ナース

利用者さんにお正月のお花を生けてもらいました。



豪華なお節料理で新年をお祝いしました。

笑う門には福来る

萌気園グループホーム ふきのとう



お正月用のお花

萌気園老人ホーム すみれ草



書き初めの様子

さくりの郷神社にも初詣



上手に揃いました。



小規模多機能ホーム さくりの郷

クリスマス行事



萌気園大和通所介護 地蔵の湯



サンタクロースがプレゼントを届けてくれた後、ジャンケンで選ばれた職員が代表として顔に生クリームを塗りつける『今年の厄払い』を受けました。



看護小規模多機能型居宅介護 コム・ソフィ&ナース



特製クリスマスケーキでお祝いました。

男性には靴下、女性にはレッグウォーマーのプレゼントが届きました。



萌気園老人ホーム すみれ草



菓子職人をされていた利用者さんが手掛けた素敵なケーキ

小規模多機能ホーム さくりの郷



さくりの郷には、タオル類、くつ下、ニット帽、マフラーなどが届きました。

萌気園大和通所介護 地蔵の湯

歌が大好きで、いつも皆さんを盛り上げてくれる行方ナカさん。十八番は『佐渡おけさ』だそうです。

ナカさんは地蔵の湯のムードメーカーです。「地蔵の湯の温泉が大好き。ごはんもおいしくて、いっぱい食べているよ。」と喜んでくださいます。

昔は旅館の女将さんをしていたそうです。

女将さん時代の話と聞くと、「忙しかったけど、女将の仕事が大好きで、皆さんが喜んでくれるのがうれしかった。」と話されていました。

今もお奇麗で、お上品な雰囲気。ナカさん。これからもお元気で地蔵の湯に来てくださいな。

うちの利用者さん



行方 ナカ 様

萌気園二日町診療所 曼陀羅

母は亡き父と2人で商売一筋のよく働く人でした。商売をしていたので、人付き合いは得意と思っていたのですが、耳の聞こえが少し悪いこともあり、大の苦手なものです。

昨年の春に体調を崩し、デイサービスを利用しなければならなくなりました。素直に利用すると言ってくれないことがわかっていたので、姉と2人であの手、この手でリハビリのできる曼陀羅華さんを利用することとなりました。外出の行事「お買い物ツアー」、「おそばを食べに行こう!」などに楽しく参加させてもらうことで、引きこもりがちだった母に良い刺激になったようです。

今年の夏には、母から「買い物に連れて行って」と言ってきたり、姉と3人でおそばを食べに出掛けることも出来ました。

お友達も出来たようで、本当に毎回嬉しそうに利用することができています。それもこれも、所長さんをはじめ、職員の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

〈萌気園二日町診療所「曼陀羅華」

北村 保 様 様(ご家族様)〉

ふみ

編集後記

小規模多機能居宅介護 たもんの郷 高野 幸徳

新年明けましておめでとうございます。本年も萌気会と地域の魅力をお伝えできる広報誌作りに向けて編集委員一同励んで参りますので、よろしくお願ひいたします。

今シーズンは10年に1度の大雪と言われています。今の所はそこまでの規模にはならず済んでいるようですが、大雪への備えは引き続きしっかりと行い、車の運転の際も事故のないよう細心の注意を払い未然防止に努めたいと思っています。

私は、若い頃は田舎よりも都会に憧れを抱いていましたが、今ではこの地域の魅力を改めて実感しています。

南魚沼市は米、酒、野菜、蕎麦、ラーメンと何を食べても美味しいですし、空気が綺麗で星が良く見えるので自然の素晴らしさを感じます。(綺麗な自然が豊かなため力ムシが多いです)毎年雪や寒さへの対応は大変ですが、晴れた日の山々の姿は美しく壮観で心が救われるようです。この地域で過ごせる有り難さを噛み締めながら一日を大切に過ごしています。

まだまだ寒い日が続きますので、コロナ、マイコプラズマ、インフルエンザなどの対策もしっかりと行い健康管理に努めたいと思います。

私事ですが、今年は近所のスキー場で数十年ぶりに子どもとスキーをしようかなと思っています。本年が皆様にとって良い一年でありますように。

今月号も最後までお読みいただきありがとうございました。